

ALESIS

Q88

USB/MIDI KEYBOARD CONTROLLER

ユーザガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] <http://www.alesis.jp/>

[MAIL] alesis@alesis.jp

ALESIS

<お問い合わせ>

株式会社ニューマークジャパンコーポレーション

カスタマ・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

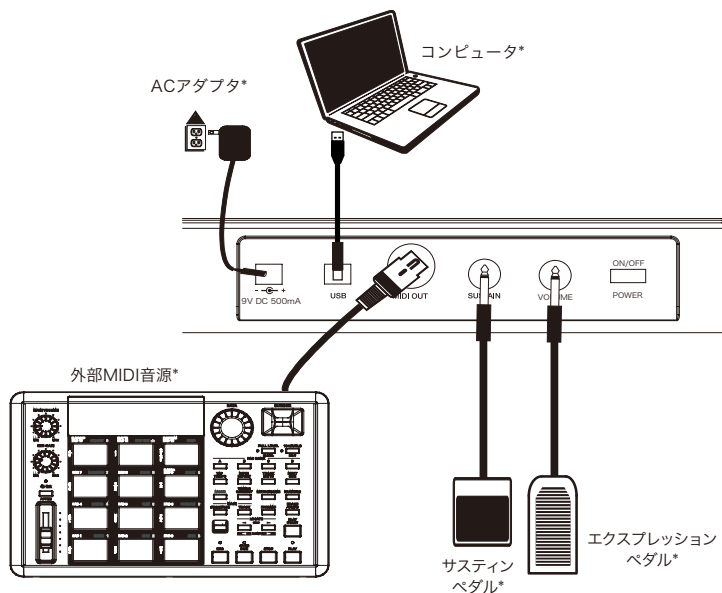
オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

同梱品

- Q88
- USBケーブル
- ソフトウェアDVD
- ユーザガイド(本書)
- 製品保証書(本書巻末)

接続図



*印のものは製品に含まれません。

Q88の電源について

Q88は、USBバスパワーまたはACアダプタ(別売)で電源供給されます。

USBバスパワー

1. Q88背面の電源スイッチがオフになっていることを確認します。
2. コンピュータの空いているUSB端子にUSBケーブルを接続します。USBハブをお使いの場合は、セルフパワータイプのハブをお使いください。
3. USBケーブルのもう一端をQ88のUSB端子に接続します。
4. Q88の電源スイッチをオンにします。Q88はUSBケーブル1本で、電源とMIDI信号の送受信を行います。

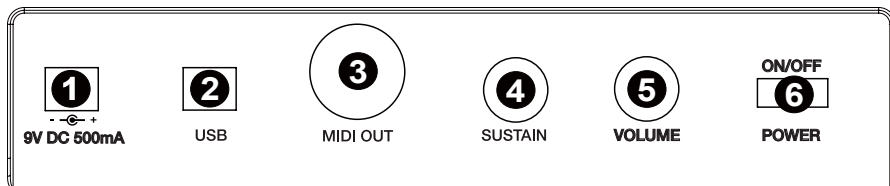
ACアダプタ

次の規格のACアダプタがお使いになれます: 9V DC 500mA、センタ+、外径5.5mm、内径2.5mm。

セルフパワータイプのUSBハブを経由してお使いの場合は、コンピュータに接続されていないくてもハブ経由で電源供給されますのでACアダプタは不要です。

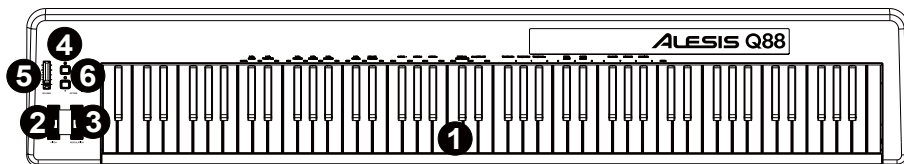
注意: Q88を長時間ご使用にならない場合は、ACアダプタは外しておいてください。

リアパネル概要



1. **ACアダプタ端子** - 別売のACアダプタを接続します。USBで電源供給される場合は不要です。
2. **USB端子** - 付属のUSBケーブルでコンピュータと接続します。
3. **MIDI出力端子** - 標準的なDIN5ピンのMIDIケーブル(別売)で外部MIDIデバイス(キーボードやドラムマシン、シーケンサなど)と接続します。
4. **サスティン・ペダル端子** - サスティン・ペダル(1/4" TS端子・別売)を接続します。
5. **エクスプレッション・ペダル端子** - エクスプレッション・ペダル(1/4" TRS端子・別売)を接続します。エクスプレッション・ペダルを接続した際は、エクスプレッション・ペダルでボリュームコントロールが可能になり、トップパネルのボリューム・スライダは無効となります。
6. **電源スイッチ** - 本体の電源をオン・オフします。

トップパネル概要



1. **キーボード** - 通常の演奏に使用するほか、MIDI設定やMIDIコマンドの送信にも使用します。
2. **ピッチベンド・ホイール** - ピッチベンド情報を送信します。
3. **モジュレーション・ホイール** - モジュレーション情報(CC#1:コントロール・チェンジ#1)を送信します。他のMIDIメッセージをアサインすることも可能です。
4. **アドバンス・ボタン** - このボタンを押してMIDIコントロール・アサインをカスタマイズします。
5. **ボリューム・スライダ** - ボリューム情報(CC#7:コントロール・チェンジ#7)を送信します。他のMIDIメッセージをアサインすることも可能です。
6. **オクターブ・ボタン(+/-)** - 上下3オクターブの範囲でシフトが可能です。「+」と「-」を同時に押すと、シフト±0(初期状態)に戻ります。このオクターブ・ボタンも、他のMIDIメッセージをアサインすることが可能です。

MIDIメッセージの選択と編集

アドバンス・ボタン

アドバンス・ボタンを押して、Q88が送信するMIDIメッセージの選択や編集を簡単に行えます。このモードでは主に、黒鍵は機能選択、白鍵はデータ入力やチャンネル選択として使用します。大まかな手順は以下の通りです。

1. アドバンス・ボタンを押します。
2. 送信したいMIDIメッセージに該当するキーボード部のキーを押します。
3. キーボード部の数字キーで目的の値を入力します。
4. キーボード部の「ENTER」キーで決定(「CANCEL」キーでキャンセル)します。

アドバンス・ボタン押下時のキーボード部の役割

CH1～CH16・キー - Q88の送信チャンネルを変更します。初期状態はCH1です。

MIDI OUT FROM USB・キー - USBを経由して受信したコンピュータ・ソフトウェアなどからのMIDI情報を、Q88本体のMIDI出力端子を経由して外部MIDIデバイスに出力するかどうかを設定します。

DATA: OCTAVE - オクターブ・ボタン(+/-)をオクターブ・ボタンとして設定します。

DATA: TRANPOSE - オクターブ・ボタン(+/-)をトランスポーズ・ボタンとして設定します。

DATA: PROGRAM - オクターブ・ボタン(+/-)をプログラム・チェンジ・ボタンとして設定します。

WHEEL ASSIGN - モジュレーション・ホイールにアサインするCC#(コントロール・チェンジ#)を、キーボード部の数字キーで入力します。

SLIDER ASSIGN - ボリューム・スライダにアサインするCC#(コントロール・チェンジ#)を、キーボード部の数字キーで入力します。

OCTAVE -- - キーボード部を-1オクターブ・シフトします。

OCTAVE 0 - オクターブを初期状態に戻します。

OCTAVE + - キーボード部を+1オクターブ・シフトします。

実際のMIDIメッセージの選択と編集方法を確認していきましょう。

オクターブ・シフト

オクターブをシフトするにはオクターブ・ボタンを使う方法と、キーボード部のOCTAVEキーを使う方法があります。

オクターブ・ボタン(+/-)をオクターブ・ボタンとして使用するには:

1. アドバンス・ボタンを押します。
2. キーボード部の「DATA: OCTAVE」キーを押します。

もしオクターブ・ボタン(+/-)を他のMIDIメッセージにアサインしている場合は、キーボード部のOCTAVEキーでオクターブのシフトが可能です。

1. アドバンス・ボタンを押します。
2. キーボード部の「OCTAVE +」キーを1回押すと1オクターブ上にシフトします(2回押すと2オクターブ、3回押すと3オクターブ分シフトします)。
3. 下げる場合には、キーボード部の「OCTAVE -」キーを1回押すと1オクターブ下にシフトします(2回押すと2オクターブ、3回押すと3オクターブ分シフトします)。
4. シフトを初期状態に戻すには、キーボード部の「OCTAVE 0」キーを押します。
5. キーボード部の「ENTER」キーを押します。

トランスポーズ

トランポーズ機能を使用すれば、半音ずつキーボード部をトランスポーズ(最大上下1オクターブ)することが可能です。急にキー(調)を変えて曲を演奏することになった場合など、この機能を使うと大変便利です。トランスポーズ機能を使用するには、オクターブ・ボタンを使う方法と、キーボード部のOCTAVEキーを使う方法があります。

オクターブ・ボタン(+/-)をトランスポーズ・ボタンとして使用するには:

1. アドバンス・ボタンを押します。
2. キーボード部の「DATA: TRANPOSE」キーを押します。

もしオクターブ・ボタン(+/-)を他のMIDIメッセージにアサインしている場合は、キーボード部のTRANPOSEキーでトランスポーズのシフトが可能です。

1. アドバンス・ボタンを押します。
2. キーボード部の「DATA: TRANPOSE」キーを押します。
3. 下げる場合には、キーボード部の「OCTAVE -」キーを1回押すと1オクターブ下にシフトします(2回押すと2オクターブ、3回押すと3オクターブ分シフトします)。
4. シフトを初期状態に戻すには、キーボード部の「OCTAVE 0」キーを押します。
5. キーボード部の「ENTER」キーを押します。

MIDIチャンネル

Q88の送信するMIDI情報のMIDIチャンネルを変更するには、オクターブ・ボタンを使う方法と、キーボード部のCHキーを使う方法があります。

オクターブ・ボタン(+/-)でMIDIチャンネルを変更するには:

1. アドバンス・ボタンを押します。
2. キーボード部の「DATA: CHANNEL」キーを押します。

これで、オクターブ・ボタンの「+」または「-」で1つずつMIDIチャンネルを変更していくことができます。16チャンネルの状態では「+」ボタンを押すと1チャンネルに戻り、また「+」ボタンと「-」ボタンを同時に押した場合にも瞬時に1チャンネルに戻ります。

キーボード部でMIDIチャンネルを変更するには:

1. アドバンス・ボタンを押します。
2. キーボード部の任意の「CH x(1~16)」キーを押します。

プログラム・チェンジ

プログラム・チェンジを使用して、MIDIデバイスのプログラムを変更することができます。プログラム・チェンジを送信するには、オクターブ・ボタンを使う方法と、キーボード部の数字キーで直接値を入力する方法があります。

オクターブ・ボタン(+/-)でプログラム・チェンジを送信するには:

1. アドバンス・ボタンを押します。
2. キーボード部の「DATA: PROGRAM」キーを押します。

これで、オクターブ・ボタンの「+」または「-」で1つずつプログラムを変更していくことができます。

キーボード部でプログラム・チェンジを送信するには:

1. アドバンス・ボタンを押します。
2. キーボード部の「PROGRAM」キーを押します。
3. キーボード部の数字キーで任意のプログラム値を入力します。
4. キーボード部の「ENTER」キーを押します。その瞬間に、上で入力したプログラムチェンジ情報が送信されます。

バンクLSB及びバンクMSB

お使いのMIDIデバイスによっては、LSBやMSB情報などでより多くのプログラムにアクセスできるものもあります(詳しくはお使いのMIDIデバイスのマニュアル等をご覧ください)。バンクLSB情報やバンクMSB情報を送信するには、オクターブ・ボタンを使う方法と、キーボード部の数字キーで直接値を入力する方法があります。

オクターブ・ボタン(+/-)でバンクLSB情報またはバンクMSB情報を送信するには:

1. アドバンス・ボタンを押します。
2. キーボード部の「DATA: BANK LSB」キー(または「DATA: BANK MSB」キー)を押します。

これで、オクターブ・ボタンの「+」または「-」で1つずつバンクLSB情報またはバンクMSB情報を変更していくことができます。

キーボード部でバンクLSB情報またはバンクMSB情報を送信するには:

1. アドバンス・ボタンを押します。
2. キーボード部の「BANK LSB」キー(または「BANK MSB」キー)を押します。
3. キーボード部の数字キーで任意の値を入力します。
4. キーボード部の「ENTER」キーを押します。その瞬間に、上で入力したバンクLSB情報またはバンクMSB情報が送信されます。

モジュレーション・ホイール

モジュレーション・ホイールに任意のMIDIメッセージをアサインできます。モジュレーション・ホイールで使いやすいCC#(コントロール・チェンジ#)は、

- 01:モジュレーション
- 05:ポルタメント
- 07:ボリューム
- 10:パン

などがあります。CC#(コントロール・チェンジ#)は、接続されているMIDIデバイス(ソフトウェア)がそれらを受け取る設定になっていないと効果がありませんが、たいていのMIDIデバイス(ソフトウェア)は、「01:モジュレーション」や「07:ボリューム」、「10:パン」などの情報は受信する設定になっているはずですが(詳しくはお使いのMIDIデバイス、ソフトウェアのマニュアル等をご覧ください)。

CC#(コントロール・チェンジ#)をモジュレーション・ホイールに割り当てるには:

1. アドバンス・ボタンを押します。
2. キーボード部の「WHEEL ASSIGN」キーを押します。
3. キーボード部の数字キーで任意の値を入力します。
4. キーボード部の「ENTER」キーを押します。キャンセルするには「CANCEL」キーを押し、エディット・モードを抜けます。

注意:Q88の電源を切るとこのアサインは無効となり、次回電源投入時には、モジュレーション・ホイールには「CC#1:モジュレーション」がアサインされている状態となります。

ボリューム・スライダ

CC#(コントロール・チェンジ#)をボリューム・スライダに割り当てるには:

1. アドバンス・ボタンを押します。
2. キーボード部の「SLIDER ASSIGN」キーを押します。
3. キーボード部の数字キーで任意の値を入力します。
4. キーボード部の「ENTER」キーを押します。キャンセルするには「CANCEL」キーを押し、エディット・モードを抜けます。

注意:Q88の電源を切るとこのアサインは無効となり、次回電源投入時には、ボリューム・スライダには「CC#7:ボリューム」がアサインされている状態となります。

ピッチベンド感度

モジュレーション・ホイールまたはボリューム・スライダに「CC#128」をアサインすると、ピッチベンド・ホイールの感度を変えることができます。これにより、ピッチベンド幅を上下に最大1オクターブまで変えることができます。

サスティン・ペダル

サスティン・ペダルは、演奏中の音をキーボード上で鍵盤を押えることなくホールドする時に用います(ピアノのサスティンペダルと同じ働きをします)。Q88はサスティン・ペダルの極性を自動的に認識しますので、Q88の電源をいれる前にサスティン・ペダルを接続しておいてください。もし、ペダルの動きが効果と逆になってしまった場合は、ペダルを踏みながらQ88の電源をオンにしてください。

MIDIの問題が生じた場合

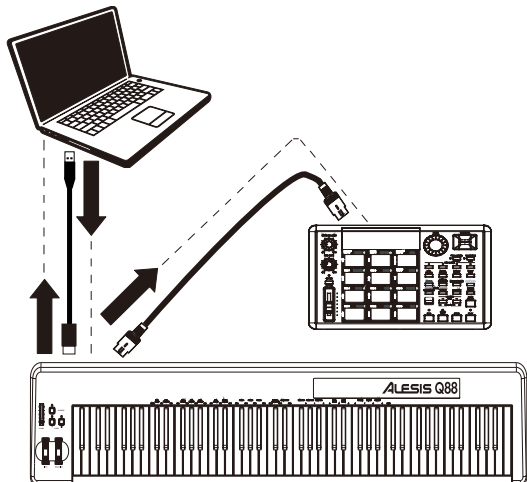
オールノートオフ

鳴り止まないノートがある場合に、「オールノートオフ(CC#123)」のMIDIメッセージを送信します。

1. アドバンス・ボタンを押します。
2. キーボード部の「ALL NOTES OFF」キーを押します。

リセット・オール・コントローラ

音色に不要なMIDIメッセージによる効果がかかっている場合、それが何の効果かわからなくても「リセット・オール・コントローラ(CC#121)」を送信してすべての効果を0にリセットできます。



MIDI出力

Q88の背面にはMIDI出力端子があり、外部サウンドモジュールやMIDIキーボードに接続できます。初期状態（Q88電源投入時）には、Q88で操作するコントロール情報はUSB端子とMIDI出力端子のどちらにも同時に出力されるようになっています。

もし、MIDI出力を従来のUSB - MIDIインターフェースのように、USBを経由して受信したコンピュータからのMIDI情報をQ88本体のMIDI出力端子を経由して外部MIDIデバイスに出力する場合は、次の手順で「MIDI OUT FROM USB」モードに切り換えて下さい。

1. アドバンス・ボタンを押します。
2. キーボード部の「MIDI OUT FROM USB」キーを押します。

トラブルシューティング

問題	原因	解決法
接続したデバイスから音が出ない	Q88が正しく接続されていない	コンピュータがQ88を正しく認識しているかを確認してください。必要であれば、Q88を接続しなおしたり、コンピュータを再起動したりしてみてください。 Q88を外部MIDI音源に接続している場合は、MIDIケーブルが正しく接続されているかを確認してください。
	ソフトウェアを起動した後にQ88を接続してしまった	ソフトウェアを一旦終了し、再度起動してください。
	USBハブを使っている	USBハブではなくコンピュータ本体のUSB端子に接続してみてください。
	ソフトウェアがQ88からMIDIを受信するように設定されていない	ソフトウェアのMIDI設定の欄でQ88(またはUSB MIDIデバイス)がアクティブになっているかを確認してください。通常、ソフトウェアのMIDI設定はPreference(環境設定)などのメニュー内で行います。
	Q88のMIDIチャンネルがソフトウェアの受信チャンネルと合致していない	Q88と、接続しているMIDIデバイス(ソフトウェア)のMIDIチャンネルが同じになっているか確認してください。
音が鳴りっぱなしになってしまう	Q88の電源を入れてからサスティン・ペダルを接続した	一旦、Q88の電源をオフにし、10秒ほどしてから再度電源を入れてください。
	不完全なMIDIデータを受信してしまった	一旦、Q88の電源をオフにし、10秒ほどしてから再度電源を入れてください。
サスティン・ペダルが逆の動きになる	Q88の電源を入れてからサスティン・ペダルを接続した	ペダルを接続してから、一旦Q88の電源をオフにし、再度電源を入れてください。
キーボードを弾くと音が遅れて発音されてしまう	ソフトウェアのレイテンシが発生している	ソフトウェアのオーディオ設定の欄でバッファサイズを小さくしてみてください。また可能であればASIOドライバを使用して、レイテンシを小さくします。詳しくはお使いのソフトウェアのマニュアルをご確認ください。

MIDIインプリメンテーション・チャート

	Transmit/Export	Recognize/Import	Remarks
1. Basic Information			
MIDI channels	1-16	No	Default = 1
Note numbers	0-127	No	With Octave +/- buttons
Program change	1-128	No	
Bank Select response	Yes	No	0-127
Modes supported:			
Mode 1: Omni-On, Poly	No	No	
Mode 2: Omni-On, Mono	No	No	
Mode 3: Omni-Off, Poly	Yes	No	
Mode 4: Omni-Off, Mono	No	No	
Multi Mode	No	No	
Note-On Velocity	Yes	No	
Note-Off Velocity	No	No	
Channel Aftertouch	Yes	No	Via volume slider, when assigned
Poly (Key) Aftertouch	No	No	
Pitch Bend	Yes	No	
Active Sensing	No	No	
System Reset	Yes	No	
Tune Request	No	No	
Universal System Exclusive	No	No	
Manufacturer or Non-Commercial System Exclusive	No	No	
NRPNs	No	No	
RPNs	No	No	
2. MIDI Timing and Synchronization			
MIDI Clock	No	No	
Song Position Pointer	No	No	
Song Select	No	No	
Start	No	No	
Continue	No	No	
Stop	No	No	
MIDI Time Code	No	No	
MIDI Machine Control	No	No	
MIDI Show Control	No	No	

MIDI CC#リスト

CC Number	Description
0	Bank Select (MSB)
1	Modulation Wheel
2	Breath Controller
3	Undefined
4	Foot Pedal (MSB)
5	Portamento Time (MSB)
6	Data Entry (MSB)
7	Volume (MSB)
8	Balance (MSB)
9	Undefined
10	Pan (MSB)
11	Expression (MSB)
12-13	Effect Control (MSB)
14-15	Undefined
16-19	General Purpose Controllers
20-31	Undefined
32-63	LSB for Controllers
64	Damper Pedal
65	Portamento
66	Sostenuto
67	Soft Pedal
68	Legato Footswitch
69	Sustain
70-79	Sound Controller
80-83	General Purpose Controller
84	Portamento Control
85-90	Undefined
91-95	Effects Depth
96-97	Data Increment
98	NRPN LSB
99	NRPN MSB
100	RPN LSB
101	RPN MSB
102-119	Undefined
120	All Sound Off
121	All Controllers Off
122	Local Keyboard On/Off
123	All Notes Off
124	Omni Mode Off
125	Omni Mode On
126	Mono Mode
127	Poly Mode

仕様

電源:	USBバスパワー、または、ACアダプタ(9V DC 500mA、センタ+、外径5.5mm、内径2.5mm・別売)
鍵盤:	88鍵
付属品:	USBケーブル、ソフトウェアDVD、ユーザガイド
MIDI出力端子:	DIN5ピン
USB端子:	Bタイプ・コネクタ

<http://alesis.jp/products/q88>

<http://www.alesis.jp/>